令和７年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人やまなみ会

法人本部

目　　次

１　はじめに　……１

２　役員会等の開催状況等　……１～４

３　職員の採用退職状況等　……４

４　職場環境の改善取組等　……５

５　次年度への提起　……６

1　はじめに

令和７年度は、処遇改善加算等の増額もあり、法人全体でサービス事業費が前年度に比べ約５％増となり、３年振りに大幅な黒字となりました。その一方、光熱費（1.03 倍）食材費（1.2 倍)、人件費（1.2 倍)、人件費率（65.5%）増は、事業経営の大きな懸念となっています。そのような中での今年４月のインターワークの就労継続支援Ａ型事業廃止は、利用者の減少、職員数不足等を考慮しての事業判断でした。

マンパワーが要求される福祉介護分野において、最低賃金の上昇を踏まえた人材確保と人材育成は最も喫緊な課題です。法人としては、ハローワークや職員の紹介等、幅広く採用活動を行い、また、各種手当を含めた給与アップ等で職員の意欲向上を図っているところですが、現状は外国人労働者や６５歳以上の職員雇用等で運用しているというのが実態です。令和８年度は、地域に密着し、誰もが安心して暮らせる活力ある未来を皆様と共に創造していくためにも、しっかりした人的基盤の構築を図っていくこととします。

2　役員会等の開催状況

令和７年度の理事会、評議会については、下記のとおり開催しています。

(1) 理事会

第１回理事会　令和７年６月１３日

参加者　理事６人　監事２人　事務局１０人

1　提案事項

① 令和６年度事業報告について
② 令和６年度計算書類、付属明細書及び財産目録について
③ 監事監査報告について
④ 次期役員候補について
⑤ 施設長等の選任について
⑥　定時評議員会の開催について

2　報告事項

① 業務執行状況報告について
② なでしこの里における損害賠償経過状況について

第２回理事会　令和７年６月２８日

参加者　理事６人　監事２人　事務局１０人

1　提案事項

① 理事長の選任について
② 常務理事の選任について

第３回理事会　令和７年１２月２７日

参加者　理事６人　監事２人　事務局９人

1　提案事項

① 令和７年度第１次補正予算案について
② 給与等支給規程の見直しについて
③ 経理規定の見直しについて
④ インターネットバンキング利用規程の制定について
⑤ インターワークＡ型事業所の廃止とそれに伴う運営規程の変更について
⑥ 阿蘇くんわの里のサービス提供時間の変更に伴う運営規程の変更について

２　報告事項について
① 業務執行状況について
② なでしこの里における利用者死亡事故の件について

第４回理事会　令和８年３月２８日
参加者　理事５人　監事２人　事務局９人

１　提案事項
① 令和７年度第２次補正予算案について
② 令和８年度事業計画案について
③ 令和８度当初予算案について
④ 諸規程（経理規定及び細則、就業規則、給与等支給規程、運営規程）の改正について
⑤ 施設長の選任について

２　報告事項について
①　業務執行状況について
②　なでしこの里における利用者死亡事故の件について

(2)　評議員会

第１回定時評議員会　令和７年６月２８日
参加者　評議員６人　理事２人　監事２人　事務局１０人

１　提案事項
① 令和６年度計算書類、付属明細書、財産目録について
② 監事監査報告について
③ 新理事、監事の選任について

２　報告事項
① 令和６年度事業報告について
② 施設長の選任について
③ 業務執行状況について

第２回定時評議員会　令和７年１２月２７日
参加者　評議員５人　理事２人　監事２人　事務局９人

１　報告事項

① 令和７年度第１次補正予算案について
② 給与等支給規定の見直しについて
③ 経理規定の見直しについて
④ インターネットバンキング利用規程の制定について
⑤ インターワークＡ型事業の廃止とそれに伴う運営規程の変更について
⑥ 阿蘇くんわのサービス提供時間の変更に伴う運営規程の変更ついて
⑦ 理事長及び常務理事時の業務執行状況について
⑧ なでしこの里における利用者死亡事故の件について

第３回定時評議員会　令和８年３月２８日
参加者　評議員７人　理事２人　監事２人　事務局９人

１　報告事項
① 令和７年度第２次補正予算案について
② 令和８年度事業計画案について
③ 令和８年度当初予算案について
④ 諸規程等改正について
⑤ 施設長の選任について
⑥ 業務執行状況等について
⑦ なでしこの里における利用者死亡事故の件について

３　施設長会議

	開催日	主な決議事項
1	令和 7 年 4 月 25 日	① 育児・介護休業改正等の周知について ② 非違事案の防止について ③ 理事会、評議員会開催予定について ④ 交通事故等各種事故の防止について ⑤ 施設報告
2	令和 7 年 5 月 20 日	① 理事会・評議員会の準備について ② 人事案件（定期異動）について ③ 飲酒運転等各種事故防止について ④ 施設報告
3	令和 7 年 6 月 9 日	① 人事案件（異動案）について ② 理事会、評議員会について ③ 指示命令の徹底について ④ 職場環境（熱中症対策）について ⑤ 施設報告

4	令和 7 年 7 月 24 日	① 労災事故の発生と再発防止について ② 指示命令の徹底について ③ 有事即応体制について ④ 施設報告
5	令和 7 年 9 月 2 日	① 労基からの指導内容について ② メンタルヘルス対策について ③ 最悪を想定した事前対策について ④ 施設報告
6	令和 7 年 10 月 30 日	① 最賃変更対応 ② 労基対応について ③ 職員の健康管理（メンタルヘルス、セクハラ） ④ カスハラ対策 ⑤ 施設報告
7	令和 7 年 12 月 4 日	① 最賃見直しに対する対応について ② 理事会・評議員会対応について ③ 補正予算案について ④ 給与等支給規程等の見直しについて ⑤ 施設報告
8	令和 8 年 2 月 4 日	① 労基対策（メンタルヘルス） ② 予算案について ③ 施設報告
9	令和 8 年 3 月 16 日	① 令和 8 年度の事業計画について ② 身上把握・指導の徹底について ③ 風通しの良い職場作り（セクハラ、パワハラ防止）について ④ 職員紹介制度の見直しについて ⑤ 施設報告

4　職員の採用退職状況（Ｒ７．４．１～Ｒ８．３．３１）

施設名	採用者				退職者			
	正職	嘱託	非常勤	特定活動	正職	嘱託	非常勤	特定活動
阿蘇くんわの里	4(2)	0	1(3)	0	1(1)	2(1)	3(0)	
くんわ技研	0	0	1(0)	0	1(2)	0	0	

支援センター	2(2)	0	0(1)	0	0(1)	1(0)	0(1)	
ＧＨくんわ		1(1)	0	0	0	0(1)	0	
なでしこの里	１(1)	1(1)	0(2)	0(4)	3(2)	2(2)	0(3)	0(1)
インターワーク	0	0	0	0	0(3)	1(0)	0	
ＧＨ草原の風	0	1(0)	0(1)	0	0	1(0)	0(1)	
ほっと館	0	0	1(0)	0	0	0	1(2)	
ゆほびか	1(2)	1(0)	3(2)	0	4(2)	1(0)	8(2)	
元気っ子クラブ	0	0	2(8)	0	0	0	3(4)	
あその杜	3(5)	1(0)	0(2)	0	4(2)	2(0)	2(0)	1(1)
小計	11(12)	5(2)	8(19)	0(4)	13(13)	10(4)	21(13)	1(2)
合計	24（37）				45（32）			

( )内の数字は、昨年度の人数。

○　職員数２０９人（昨年同期比－１０人）

正職 107 人(＋2) 嘱託 53 人（＋25）非常勤 40 人（－36）特定活動 9 人（－1）

5　職員の年齢構成

	正　職	嘱　託	非常勤
平均年齢(歳)	50.9(48.5)	70.8（67.3）	48.9（60.5）
勤務年数	8.4（8.3）	5.9（7.4）	4.1（3.6）

( )内の数字は、昨年度の人数。

6　職員研修の実施状況

資格取得状況（Ｒ７．４．１～Ｒ８．３．３１）

資格	数	資格	数
介護福祉士	3(3)	サビ管基礎研修	2(3)
社会福祉主事	2(2)	サビ管実践研修	1(2)
強度行動障害支援者基礎研修	6	サビ管更新研修	0(4)
強度行動障害支援者実践研修	7		

( )内の数字は、昨年度の人数。

7　職場環境の改善取組

(1)　給与等の見直し

光熱費、食材費等の値上げ等を受け、令和６年７月、基本給（１万円）のベースアップ、資格手当等の見直しを図ったところですが、県の最低賃金見直しや物価高騰、企業の人件費上昇を受け、令和８年度の定期昇給時に全職員を対象にした基本給や処遇改善手当等の見直しを行います。

(2)　職場環境の改善

昨年は、労働基準監督署から職員の転倒事故防止やメンタルヘルス対策等の指導を受け、職場の整理整頓、点検声掛けの励行、マニュアル作成等に取り組みました。

また、積極的な勤務体制の見直しを行い、効率的な業務の推進、時間外の抑制、年休所得増進を推進し、職場の環境改善、勤務意欲の向上を図りました。

8　社会福祉法第２条に規定する「社会福祉事業」の消費税の取扱いにかかる法人対応

こども家庭庁・厚生労働省から県・市町村への通知（令和５年１０月）

「市町村が行う障害者相談支援事業については、社会福祉法第２条第２項及び第３号の各号いずれも該当せず、社会福祉事業には該当しない。自治体が当該事業を民間事業者に委託する場合の委託料については、委託料に消費税相当額を加えた金額を受託者に支払う必要がある。

に基づき、一般相談事業、巡回支援専門員整備事業の令和６年度分の消費税（818,336 円）を令和７年６月２日に、令和７年度として１１月２１日に中間申告分（971,910 円）を支払ました。

なお、平成７年度から同事業に伴う契約書に消費税について明記することとしました。

9　地域共生への取組

やまなみ通信、各施設便り等の広報紙、ラインを活用しての法人や各施設活動状況等を情報発信、キッズバスケットボール大会への協賛、大相撲力士の施設慰問受入れ等、法人・施設の事業方針の周知等に取り組みました。

10　次年度への提起

(1)　積極的な業務見直しによる財政の安定化

超高齢化社会の到来が現実的になるなか、福祉従事者の人材不足、福祉サービスの高度化、人件費や物価の高騰等、厳しい経営環境の中で地域での福祉サービス事業を継続していくためには、これまで同様の考え方では立ち行かなくなってしまう恐れも生じかねません。福祉の根本理念を踏まえつつ、これまで以上の経営危機感と中長期的視野をもった事業見直し、安定した財政基盤を構築してまいります。

(2) 魅力ある職場作りによる人材育成

組織にとって人材は財産であり、若い人を採用し、優秀な人材を育てることが課題であり、そのためには給与面や職場環境等、魅力ある職場を作ることが求められます。これまでも必要に応じ、給与や休暇制度の見直しに取り組んでまいりましたが、他産業、都市部との格差は依然として解消されていないのも現状です。人員不足は、そのまま現場の負担増に繋がり、事故発生のリスクも高まります。このような状況を踏まえ、今年度は以下のような政策を積極的に推進し、魅力ある職場作り、人材育成に取り組んでまいります。

(3)　緊急事態時等おける安定した業務の継続

地域福祉を担う組織として、いつ、どこで発生するか分からない大規模な自然災

害、新型コロナウィルス感染症の流行等の緊急事態においても、被害を最小限で食い止め、事業を継続できる体制を構築していくことが求められます。そのためには、普段から職員一人一人まで、危機意識を浸透させます。